

信州大学医学部附属病院 消化器内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025年11月20日

「ERCPにおける胆管挿管困難例に対する新規回転機能付きスフィンクテロトーム(ENGETSU®)の有用性」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6677
研究課題名	ERCPにおける胆管挿管困難例に対する新規回転機能付きスフィンクテロトーム(ENGETSU®)の有用性
所属(診療科等)	消化器内科
研究責任者(職名)	中島 大地
研究実施期間	医学部長による許可日～2030年10月31日
研究の意義、目的	内視鏡的逆行性膵管胆管造影(ERCP)における胆管挿管困難例に対する新規回転機能付きスフィンクテロトーム(ENGETSU®)の有用性を明らかにすることを目的とした研究で、胆管挿管困難例における挿管成功率の向上に寄与すると考えられます。
対象となる方	2024年6月1日から2025年10月31日の期間に当院で胆管挿管を企図してENGETSU®を使用された方。
利用する診療記録	性別、年齢、合併症、既往歴、現病歴、画像検査(CT検査、内視鏡画像、内視鏡レポート、X線透視画像)
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、ERCPにおける胆管挿管困難例に対する新規回転機能付きスフィンクテロトーム(ENGETSU®)の有用性を検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名):中島 大地(医学部附属病院 消化器内科・医員) 電話:0263-37-2634

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願ひいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあります。